

教育実習に向けて

教育実習の意義目的について

明豊中学・高等学校

校長 小野 二 生



これからの教師に求められる資質とは？

- 1 子どもが好きになれること。
- 2 精神的にタフであること。
- 3 常に情熱を持てること。

この資質を身につけるために、皆さんは毎日勉学に励んでいると思います。様々な学習をとおして、身につけることは、いっぱいあります。そのためにも今は、たくさんの本を読んでください。本には、いろいろな生き様があります。私たちは、多くの生き方はできません。だからこそ、多くの人の生き方を学び、そして、その中から自分のできることを身につけるのです。知識を多く持つと知恵がつきます。知恵がつくと知識が欲しくなります。これを、「知のサイクル」といいます。

次に、教育実習にあたって気をつける点を三つあげます。

- 1 教材研究をしっかりとやること。
- 2 失敗を恐れないこと。
- 3 生徒の中に積極的に飛び込むこと。

決してうまい授業をやろうと思わないでくださ

い。うまくやろうと思ってやった授業は、つまらない授業となることもあります。失敗を恐れず、チャレンジする勇気が必要です。失敗は、人を大きくします。

最後に、平成24年度後学期における講義でも紹介した「夢を叶える笑顔唱」と「生涯の旅路」を読んでくださいね。

〈夢を叶える笑顔唱〉

朝、目が覚めたら直ぐに笑顔で「私の夢は叶う」と5回唱え、にっこり笑う

鏡を見るとき、笑顔で、鏡の中の自分の目を見つめ、

「あなたは凄い、あなたの夢は叶う」と5回語りかけ、にっこり笑う

夜、寝る前に笑顔で「私の夢は叶った」と5回唱え、にっこり笑って眠る

あなたの夢は必ず叶います

〈生涯の旅路〉

私は、私の一生涯の旅路において

今日というこの道を

再び通ることはない

二度と通ることはない

二度と通らぬ今日という道

どうしてうかうか通ってなろう

笑って通ろう歌って通ろう

二度と通らぬ今日というこの道

「教育実習に臨む皆さんへ」

別府市教育委員会学校教育課
指導主事 北村 俊 雄



私にとって教育実習は教師という職業への憧れを強めた貴重な経験であり、その後の人生を決定づけたものでした。皆さんにとって

も同様の経験になることを願い、先輩として少しだけアドバイスをさせていただきたいと思います。

長いようで短い教育実習は、あっという間に終わってしまい、そこで学べることは限られています。価値ある経験にするためには明確な目標をもつことが必要です。

皆さんには、この機会を生かして、まず生徒理解に挑戦してほしいと思います。信頼される教師は、必ず生徒を理解する優れた目を持っています。効果的な支援を講じたり、よりよい学級集団をつくったりするには、生徒一人一人の性格や考え方を理解し、彼らの願いや困りを敏感に捉えることが不可欠なのです。短い実習期間ですが、生徒の理解を深めるチャンスはいくらでもあります。目立たない生徒が一生懸命に掃除に取り組む姿や、学習が苦手な生徒がいきいきと部活動に参加する姿などを探してみてください。そして、教育実習が終わった時に、学級のすべての生徒の褒めてあげたい点を1つ以上言えることを具体的な目標としてください。教師が公平にすべての生徒のよさを理解する。このことが生徒との信頼関係を生み出し、すべての教育活動の基盤を築きます。

授業では、生徒の表情と視線がポイントです。

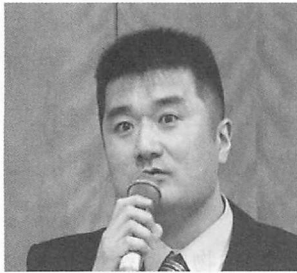
授業がわからなかったり、つまらなかったりする時は正直に表情に表れ、視線が不自然な方向を向くことが多いものです。その姿は教師への厳しい評価であり、授業を改善するヒントがそこにあります。生徒理解は、教師の成長の原動力でもあるのです。

2つ目として、教育実習では「先輩教師の技を盗む」ことに挑戦してほしいと思います。1時間目の授業が始まるまでに教師がどんなことをしているか知っていますか。私の尊敬する先輩たちは、毎朝誰よりも早く登校し、教室のカーテンを開け、床のゴミ、黒板の落書き、掲示物のはがれを点検し、机と椅子を整えたうえで生徒を出迎え、登校してきた生徒に声をかけながら、気になる様子はないかを丁寧に見取っていました。教育実習は、こんな生の姿を知る貴重な機会です。その他にも、集団を苦手とする生徒にどんな声かけをしているか、他者を傷つけようとする生徒をどう叱るか、生徒の日記に添えるコメントのセンスや、生徒の情報を同僚教師とどのように共有しているかなど、たくさんの技を盗むチャンスです。

教師の世界では、仕事の仕方を後輩に丁寧に教えてはくれません。後輩の成長を願いながらも、日々生徒たちと向かい合っている教師には、時間のゆとりがないのです。皆、現場での経験を積み、先輩の技を盗んで一人前の教師に近づいていくのです。それは、職人の世界に似ていると思っています。皆さんにとって教育実習が、教師という職業への憧れを強め、職人への道を歩み始めるきっかけとなることを心から願っています。

「やっぱり教師って…」

別府市教育委員会学校教育課
指導主事 藤内 護



教育実習を控えたみなさんに話をさせていただき、その日、会場へ向かう大学のエレベーターで出会った学生のさわやかな挨拶に心地よさを感じ、それまでの緊張が一挙にほぐれました。「やっぱり教師って…」と、みなさんに何かしらプラスの刺激を与えたい。そのような思いで話をさせていただきました。

私も20年ほど前に教育実習を経験しましたが、そこで行った授業は今でも忘れられない悲惨なものでした。小学校1年生を前に行った算数の「長さ」の授業。教科書の縦の長さや横の長さを比べるという間接比較の内容でしたが、授業が退屈だったのでしょ。子どもたちが必要とするであろう用意していた竹ひごを渡したとたん、多くの子どもたちがそれを折って遊び始めました。冷や汗が出ました。頭が真っ白になりました。

授業のねらいが明確でなかった。課題が曖昧だった。見通しが甘かった。子どもの実態をつかみきれていなかった等、理由はたくさん挙げられます。実習生の授業だから、経験がないからと言ってしまえばそれまでですが、情けなさ、恥ずかしさ、悔しさとともに、貴重な1時間の授業を無駄に過ごさせてしまったという申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

その後、大学を卒業し、一教師として約20年間、授業を行ってきましたが、うまくいった言える授業はほとんどありません。その時はうまくいったと思えた授業も、しばらくして振り返ってみると、

実は私が思い描いたルールに乗せようと無理やりに引っ張り、子どもたちを置き去りにした一方的な授業でした。また、子どもたちがたくさん挙手をして発表する姿に自己満足していた授業でした。もちろん子どもたちがたくさん発表する授業が悪いというわけではありません。しかし、課題を引き受け、本気で考え、悩む授業では、それほど多くの子どもたちの発言は期待できないと私は考えます。子どもたちを本気にさせる授業をする。決して容易いことではありませんが、1時間1時間の授業に目的をもって挑戦してほしいと思います。

子どもは教師を選べません。だからこそ、教育実習での子どもたちとの出会いを大切に、日々本気で向き合い、厳しさと優しさをもって接してほしいと思います。目の前の子どもたちをしっかり見つめ、捉え、理解する努力を惜しまないでほしいと思います。教師の役目は子どもたちを成長させること、大人にすることです。責任は大きいですがやりがいがあります。

やっぱり教師っていいですよ。私は心からそう思います。

求められる教師像

大分県教育庁高校教育課
課長 宮脇和仁



大分県が求める教職員像は、次の4点です。

1つ目は、「専門的知識をもち、実践的指導力のある人」、2つ目は、「使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性をもつ人」、3つ目は、「柔軟性と創造力を備え、未知の課題に立

ち向かう人」、4つ目は、「学校組織の一員として考え行動する人」です。

1つ目の「専門的知識をもち、実践的指導力のある人」とは、子どもの側に立って、いつも情熱にあふれ、よく分かる授業をする人のことです。物事を分かりやすく要約・説明できる表現力や説得力を持ち、どんな質問にも的確に答えを出せるように、学習しておかなければなりません。そのためには、子どもの授業前の理解度と授業後に到達させたい状態を把握し、その差をどのような方法で何段階で理解させていくのかを計画することが大切です。

2つ目の「使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性をもつ人」とは、子どもの成長を願って、強い責任感と思いやりの心を忘れない人のことです。子どもが好きで、子どもに対する愛情や教育者としての責任感が強く、子どもの指導に時間を惜しまず、努力を続けることが大切です。分け隔て無く全ての子どもたちを慈しむ温かい心を持ち、柔軟な発想や思考ができるようにあります。さらに、教育公務員としてより高度な規範意識が求められます。

3つ目の「柔軟性と創造力を備え、未知の課題に立ち向かう人」とは、広い視野を持ち、柔軟な発想力と企画力を持つ人のことです。困難なときにこそ常に創造力を発揮し、新しい課題に果敢に取り組む姿勢が大切です。

4つ目の、「学校組織の一員として考え行動する人」とは、子どもたちの明日のために、協働し、校長のリーダーシップのもと、教育課題の解決に組織として取り組む人のことです。常に自己研鑽に努め、社会的常識や協調性を身に付け、コミュニケーションがとれることが求められます。一人の教師の力は小さくても、チームとして、組織としての力は大きくなります。

子どもの可能性は無限です。その可能性を引き出し、伸ばすことが教師の役割だといえます。

皆さん自身の可能性も無限です。自分の夢に向かって努力し続ければ、必ず夢は実現できます。

自分自身を信じて邁進していかれることを願っています。

教育実習の実際

明豊高等学校

元教頭 山添博司



(1) 教育実習の前に

実習校では、実習生のためにオリエンテーションを実施しますが、できたら前もって実習校を訪問し、担当の教師に学校の説明をしてもらうことは、大切なことだと思います。

オリエンテーションに出席する時は、持参する書類を点検し落ちの無いようにして下さい。オリエンテーションではまず、教育実習の心得が説明されます。

主な点は、①実習校の教育の概要について理解する。②教育実習の目標・内容を理解する。③教育者であると同時に被教育者としての自覚を持つ。④実習校の勤務条件を理解し勤務するという意識を持つ。以上4点です。実習が始まったその日から、皆さんは教師としての自覚をしっかりと持って下さい。生徒は期待しています。

次に、教育実習の指導方針と実施計画、日課時刻と授業時間、担当クラスと指導教師、施設・教室配置、実習初日の日程などが説明され、指導教師とホームルーム担当教師との打ち合わせがあります。不明な点や疑問点がありましたら、質問をして確認して下さい。

(2) 教育実習の実際

(イ) 導入の過程…実習の前半は、授業、ホームルーム活動、部活動などいろいろな教育活動について、しっかり観察・参加して下さい。授業では自分の教科だけではなく、他の教科の授業も指導教師を通して許可を得て、積極的に見学することは、指導内容、板書、発問内容、生徒の活動など、自分が教壇に立つときに大変役に立ちます。

また、ホームルーム活動や部活動では、生徒との信頼関係をしっかり築くことが大切です。生徒の名前と顔をしっかり覚えて下さい。

(ロ) 実習の過程…実習の後半は、いよいよ教壇に立って授業を行います。指導教師の指導で指導案を作成し、教材研究を十分にすることは当然ですが、授業は生徒が理解しなくては意味がありません。生徒が積極的に参加し、「楽しく、よく分かる授業だった」と、生徒が言える達成感を持つ授業が大切です。そのために、導入・展開・まとめの内容及び使用する資料などの工夫が必要です。また、この期間、他の実習生の授業も出来るだけ多く観察して下さい。さらに、授業での間違いは、早急に訂正することです。人間は誰でも間違いはあります。そのままにしないように心掛けましょう。最後に、授業時間は厳守して下さい。チャイムが鳴った後の授業は集中出来ません。

(ハ) 整理反省の過程…実習生は研究授業（公開）を行います。指導教師、教科の教師、実習校の教師、大学の教員、他の実習生など多くの人達に授業を見てもらい、その後反省会があります。その場での意見は大変重要で、真摯に受け止め、今後に活かして下さい。また、他の実習生の反省会では、遠慮せず、お互いの向上のため率直な意見を述べて下さい。

(3) 教育実習での留意点

(イ) 守秘義務・個人情報保護…実習で得た学校、生徒に関するすべての情報について口外したり、実習後に個人的に連絡を取って、生徒に会うことは絶対にしない。

(ロ) 欠勤、遅刻、早退、外出などは、必ず実習校に連絡を取る。また、出勤時の捺印のため印鑑を忘れないように。

(ハ) 服装や頭髪は教師（社会人）にふさわしいものに。

(ニ) 実習ノートはその日の内に、指導教師に提出する。

(ホ) 実習生の控え室は常に清潔にし、最後に出る人は、戸締り、消灯、施錠を忘れないように。

以上、明豊中学・高等学校の教育実習に関する資料を中心に述べました。教師の仕事は大変だとは思いますが、生徒の笑顔、輝く瞳を見る時、苦労も解消します。皆さんが教壇に立ち、生徒に囲まれる日を心から願っています。